ごあいさつ

理事長 大前 茂

日頃、皆さまには格別のご愛顧をいただき、厚くお礼申し上げます。「よこしんレポート2024」をお届けします。

令和5年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、経済活動の正常化が進み、明るい兆しが見られた一方で、世界的なインフレによる原材料価格の高騰、円安の進行、人手不足など、中小企業にとって厳しい側面もありました。また、日本銀行の金融政策変更による今後の影響についても、動向を注意深く見守る必要があります。

こうした中、当金庫は、「このまちの未来をともにつくる～信用金庫の原点を忘れず、金融を超えた価値を提供し、笑顔あふれる地域づくりに貢献する～」という経営理念のもと、地域の事業者を徹底して応援する活動を展開しました。事業者の皆さまの資金繰り支援はもとより、販路拡大や人材マッチング、事業承継支援などの本業支援に真摯に取り組みました。

地域に向けた取組みとしては、地域の方々や事業者のご協力により地域の学校でSDGsをテーマにした授業を実施するなど、様々な取組みを行うことができました。また、社会福祉法人横浜市社会福祉協議会等と「ひとり親世帯の高校生に対する学習支援」に取り組んだことが評価されて、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）から表彰を受けました。

当金庫は令和5年7月に創立100周年を迎え、次の100年に向けて新たな一歩を踏み出しました。また、令和6年4月より、新たな中期経営計画2027をスタートし、地域において「“選ばれ続ける”ベストパートナーバンク」になることをビジョンとして掲げました。金庫一丸となって、これまで以上に地域から愛される金融機関を目指すとともに、笑顔あふれる地域づくりに貢献していくことをお約束します。

皆さまのより一層のご支援をいただければ幸いです。

令和６年６月

経営理念

このまちの未来をともにつくる

信用金庫の原点を忘れず、金融を超えた価値を提供し、笑顔あふれる地域づくりに貢献する

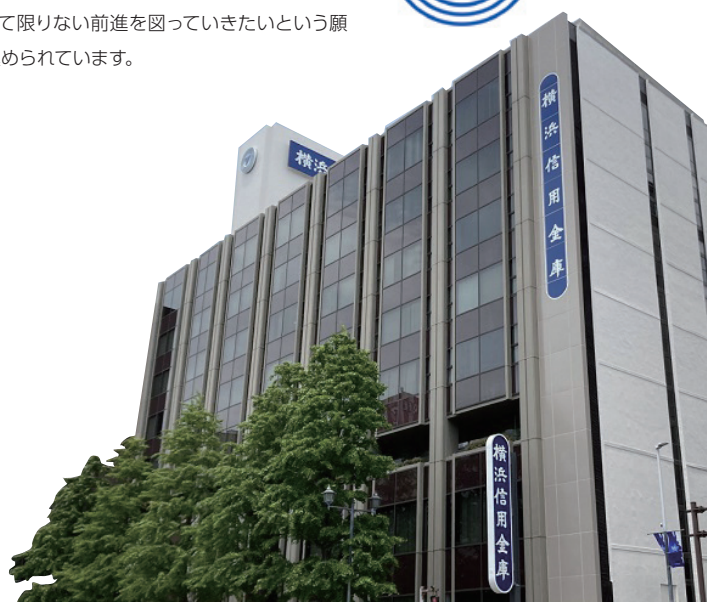
大切にしたい思い・行動

- 広い視野を持ち、変化を恐れず積極的にチャレンジする
- 自分たちの仕事に誇りと自信を持ち、信頼される行動をとる
- 成長に向けて常に学習し、未来への責任を果たす
- 感謝を忘れず、相手の想いに真摯に向き合う
- 多様な価値観や新しい考えを尊重し、共に考動する

プロフィール

（令和6年3月31日現在）

創　　業 —— 大正12年（1923年）7月19日
出 資 金 —— 1,658百万円
預金積金 —— 2,050,966百万円
貸 出 金 —— 1,177,241百万円
役職員数 —— 1,226人
本　　店 —— 〒231-8466 横浜市中区尾上町2-16-1
電話 045-651-1451（代表）
店 舗 数 —— 61店舗
営業地区 —— **神奈川県**　横浜市／川崎市／横須賀市／鎌倉市／藤沢市／茅ヶ崎市／逗子市／ 三浦市／相模原市／厚木市／大和市／海老名市／座間市／綾瀬市／三浦郡／高座郡／愛甲郡愛川町
東京都　大田区／町田市

シンボルマーク

横浜信用金庫を表わす「Y」を囲む3重の輪は、「地域社会」「顧客と会員」「役職員とその家族」を意味しています。
お互いに支え合い、強い絆で結ばれ、地域金融機関として限りない前進を図っていきたいという願いが込められています。